



225

中学生向け 年組

2024年8月23日付・下野新聞3面

商業施設は「想定以上」

と実感する。

■投資効果大

JR日光線とLRTを使い、友達と訪れた鹿沼市、中学2年女子生徒(14)は「LRTで『ベルモ』に来たのは4回目。『JR宇都宮』駅での乗り換えも簡単で来やすい」と話す。以前は親の車が頼りだったが、行動の自由度は高まった。

加速LRT

宇都宮ー芳賀 開業1年

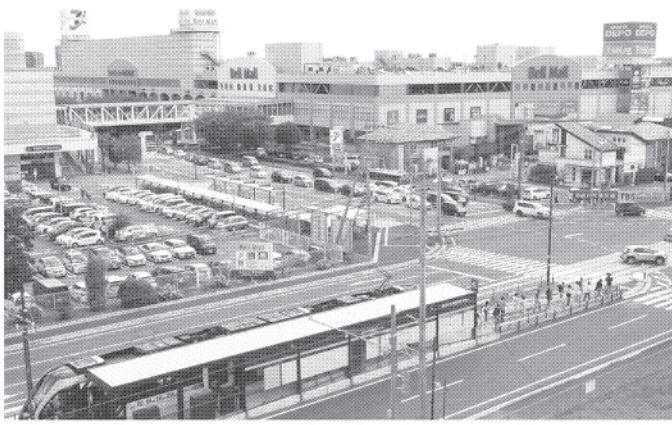
猛暑が続く21日、次世代型路面電車(LRT)から降りた人々が、近隣の大型商業施設ベルモールへと歩いていく。夏休み中の中高生の姿も目立

経済効果

宇都宮駅東口から徒歩数分、目の前を黄色い車両が通る「オリオン餃子」は、

佐藤栄一宇都宮市長は「沿線の人口も8%増。市への移住相談も以前の10倍。投資へのリターンは大きい」と力を込める。一方、沿線飲食店の受け止めはさまざま。

際立つ沿線地価上昇



LRTを降りベルモールの方向へ向かう人々たち。同施設関係者は開業効果を実感している=17日午後、宇都宮市陽東5丁目、ドローンから、杉浦崇仁撮影

交流拠点施設ライトキューブ宇都宮で開催される会議前後に利用する客も多い。椎名真店長(44)は「LRTを含め駅東の夜まで長居する客は減っ

再開発全体のいい影響を感じている」と手応えを語る。

た。人々の思わぬ行動変容を前に「週末だけでも終電を遅くできないか」とつぶやいた。

■商機逃さず

観光事業者も動き始めた。

旅行会社のクラブツーリズム(東京都江東区)は4月、LRTや東武鉄道のスパシアXに乘れるツアーの販売を始め、7月までに47回催行した。県内のある事業者も「日光や大谷など観光名所とLRT乗車を組み合わせたツアーを企画したい」と意気込む。

新たな「インフラ兼商材」の活用に関係者は知恵を絞る。23年に市を訪れた観光客は1271万人。3年連続で増え、新型コロナウイルス禍から回復傾向にある。市はLRTやライトキューブの通年稼働などが寄与したとみている。

(仁平裕人)

設問

【1】記事の本文で使われている次の熟語の読み方を答えましょう。

- ①近隣 ②沿線 ③催行 ④稼働 ⑤寄与

【2】記事の中で宇都宮市長が「投資へのリターンは大きい」と述べていましたが、この『投資』とはどんなことを指すのでしょうか。説明してみよう。

【3】この記事から分かる情報として正しいものには○を、間違っているものには×を書きましょう。

ア 車を運転できない中高生にとっては、LRTの開

- 業により、大型商業施設ベルモールへのアクセスが容易になった。
- イ 大型商業施設ベルモールは、車を運転できない子どもやお年寄りなどの新たな客層の来店を狙って自社努力し、来店客数や売り上げを1割ほどアップさせた。
- ウ LRTの開業により、沿線の人口が8%増加し、宇都宮市への移住相談も以前の10倍となった結果、宇都宮市全体の地価は上昇した。
- エ 交流拠点施設ライトキューブを利用する客層を取り込んだこともあり、LRT沿線の全ての飲食店は、駅東の再開発の恩恵を受けていると言える。
- オ 宇都宮市を訪れる観光客は新型コロナウイルス禍によって大きく減ったが、近年はその数が戻りつつある。これにはLRTやライトキューブの通年稼働も貢献していると考えられている。